

【第57号 2018/10/1】

目次：

1. 大使挨拶
2. 領事・治安情報
3. 総務・儀典関連
4. 広報文化のお知らせ
5. 政治経済情勢

1. 大使挨拶

皆様、はじめまして。

特命全権大使として8月30日にパナマに着任しました大脇崇（おおわきたかし）と申します。よろしく願いいたします。

パナマは、南北米大陸を結ぶ陸の結節点と太平洋と大西洋が運河を介して繋がる海の結節点が交差する、まさに地政学上の要衝に位置しており、パナマ運河、港湾、空港など、海洋貿易、国際ロジスティクスの観点から、中南米地域のハブになり得る高いポテンシャルを持つ国です。しかも近年は、金融、情報、学術、観光などといった様々な分野の活動が盛んで、日本企業を含め海外からの投資も活発です。

日本との国交樹立は1904年で、すでに100年以上の交流の歴史があります。現在、在留邦人数は388人、進出している日系企業数は52社（何れも2017年10月時点）、パナマ運河の利用国としても世界第4位（重量ベース）。都市交通などの分野で日本企業の技術力が活用されるプロジェクトが進められるなど、日本の技術力への信頼度も高く、かつ、民主主義、市場経済、法の支配といった共通の価値観を有するパナマは日本にとっても重要なパートナーです。

日本とパナマの二国間の友好関係は、こうした経済活動の分野ばかりではありません。パナマでは、和食をはじめとする日本文化に関心を持つ方々も多く、文化的な交流も盛んになってきています。

こうした良好な関係にあることは、官民間わず日本・パナマ両国関係者のこれまでの尽力の賜ではありますが、在留邦人の皆様、さらに日系企業の皆様とも連携しつつ、二国間の友好関係をさらに増進・発展させて参るべく努めて参りたいと思います。

また、治安情報の提供やその他在留邦人の皆様に対するサービスレベルの向上にも、大使館をあげて取り組んで参りたいと思います。

引き続き、皆様のご支援をよろしく願いいたします。

2. 領事・治安情報

●安全対策

8月29日(水)午後6時ころ、ベジャ・ビスタ地区にある Soho モール内の宝石店において、拳銃を使用した強盗事件が発生しました。犯人は、客を装って店内に入り、従業員から高級時計を見せてもらったところで、拳銃を取り出して従業員を脅し、高級時計17本等を奪って、逃走したとのことです。

在留邦人の皆様におかれましては、比較的安全と思われているショッピング・モールにおいても、拳銃を使用した強盗事件が発生している当地の治安状況を再認識いただくとともに、万一、事件に遭遇した際は二次被害防止のため、抵抗することのないようにしてください。

●第三国に渡航する際には「たびレジ」登録を

「たびレジ」は、あなたの安全な旅行をサポートする外務省の無料メール配信サービスです。お住まいの国で在留届を提出している方でも、別の国・地域に短期間渡航する際には、「たびレジ」に登録してください。登録すると、渡航先の大使館などから最新の安全情報が届くほか、緊急時には登録された情報をもとに安否を確認し、必要な支援を行います。

https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_campaign/

(3ヶ月以上の海外滞在予定の方は、ホームページ上又は大使館での「在留届」の提出をお願いします。)

●当国居住未成年者の出国時の諸注意について

お子様(18歳未満)を連れて日本に帰国するなど、当国を出国する場合、事前に準備すべき必要書類があります。

詳細は、下記をクリック。

https://www.panama.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_000374.html

●ハーグ条約について

ハーグ条約についてご存じですか？

一方の親の同意なく、お子さんが国境を越えて海外に移動した場合、一定の要件を満たせばハーグ条約が適用されることとなります。その場合、お子さんは、原則、元いた国に戻されることとなります。詳しくは外務省のホームページをご参照ください。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/hague/index.html>

また、外務省ハーグ条約室では、SNSを使ったハーグ条約に関する情報発信を始めました。ハーグ条約の手続等を分かりやすく解説するミニ解説などを毎週発信しておりますので、こちらも

ご覧ください。

Twitter : <https://twitter.com/1980HaguePR?lang=ja>

Facebook : <https://www.facebook.com/1980Haguepr/>

お子さんの海外への移動、ハーグ条約についてご不明な点がありましたら、以下までご連絡ください。

- ① 外務省ハーグ条約室 : TEL: +81-(0)3-5501-8466; Email: hagueconventionjapan@mofa.go.jp
- ② 在パナマ日本国大使館 : TEL:263-6155 Email: consular@pn.mofa.go.jp

3. 総務・儀典関連

●佐藤外務副大臣の当地訪問

9月2～4日にかけて、佐藤正久外務副大臣がパナマを訪問しました。滞在中、サイン・マロ副大統領兼外務大臣及びバラカット海事庁長官とそれぞれ会談を行った他、パナマ運河、水産市場及び旧市街地区等を視察しました。

※詳細は下記リンク先（外務省HP）に掲載しております。

https://www.mofa.go.jp/mofaj/la_c/m_ca_c/pa/page3_002544.html

●大脇大使の信任状捧呈

9月22日、パナマ大統領府にて信任状捧呈式が執り行われ、大脇大使はバレーラ大統領へ信任状を捧呈しました。

※写真等の詳細は下記リンク先に掲載しております。

<https://www.panama.emb-japan.go.jp/files/000402498.pdf>

4. 広報文化のお知らせ

●日本の戦後復興に関する講演会実施（結果報告）

9月3、4日、パナマ市及びチトレ市において、日本現代史を専門とするフロレンティーノ・ロダオ・スペイン・コンプルテンセ大学教授による、第二次世界大戦後の日本の復興に関する講演会を実施致しました。

※写真等の詳細は下記リンク先に掲載しております。

<https://www.panama.emb-japan.go.jp/files/000398986.pdf>

5. 政治経済情勢

●大統領選挙

16日、民主革命党（PRD）は2019年の大統領選挙に向け党内予備選挙を実施。コルティソ元農牧開発大臣が得票率約67%で、同党大統領候補に選出されました。

●コロンビア大統領のパナマ訪問

10日、バレーラ大統領は、就任後初の公式訪問としてパナマを訪問したドゥケ・コロンビア大統領と首脳会談を行いました。

●バレーラ大統領の米国訪問

25日、国連総会出席のため米国を訪問中のバレーラ大統領は、国連本部内において安倍総理と立ち話を行いました。

※詳細は下記リンク先（外務省 HP）に掲載。

https://www.mofa.go.jp/mofaj/la_c/m_ca_c/pa/page4_004360.html

2018年8月以前の政治月報については、下記リンク先に掲載しております。

https://www.panama.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_000022.html

●2018年上半期のGDP

経済財務省は、2018年1月～6月の実質GDPが203億94百万ドルで、前年同期比7億20百万ドル（3.7%）増加した旨発表しました（名目GDPは315億59百万ドルで、前年同期比13億88百万ドル（4.6%）増加）。運輸・倉庫・通信業は7.3%増と好調であった一方、本年第2四半期に発生した建設労働者によるストライキにより、建設業は2.0%増に留まりました。また、ホテル・レストラン業は3.2%減と低迷しています。

※本メールマガジンに関するご意見・ご要望や、配信停止をご希望される方は、次のアドレスまでご連絡ください：consular@pn.mofa.go.jp

発行：在パナマ日本国大使館